

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 2 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再エネの導入による地域資源を活用した地場産業活性化可能性調査事業	
補助事業者名	八幡浜市	
補助事業の概要	「①AI を活用した陸上養殖業 F/S 事業」及び「②市民スポーツセンターにおける地中熱利用による宿泊施設等への普及拡大 F/S 事業」を実施し、事業化に向けた検討を行い、産業振興や新規産業創出の可能性を検討する。	
総事業費	26,840,000円	
補助金充当額	26,840,000円	
定量的目標	① AI による太陽光・蓄電池利用の最適化の検討 ② 現状の維持管理費の大幅な低減を目指す	
補助事業の成果及び評価	① AI を使うことで公開された気象情報から、太陽光発電の出力変動を精度良く推定できることにより、蓄電池の容量を限定しつつ、エネルギー自立化が図れるシステムを構築できる可能性が判明した。 ② 本事業で実施した TRT 試験において、一般的な事例と比較して有効熱伝導率が 3.26 W/m・K という非常に高い数値であり、地中熱システム導入に有利な条件であり、空調設備への導入が有効であることが判明した。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	契約（間接補助）の目的	専門的知識を有する事業者に調査を委託し、多方面から可能性調査を実施するため。
	契約の方法	随意契約（プロポーザル方式による）
	契約の相手方（間接補助先）	八千代エンジニアリング株式会社
	契約金額（間接補助金額）	26,840,000円
来年度以降の事業見通し	令和 2 年度の地中熱利用の F/S 調査結果を踏まえて、八幡浜市民スポーツセンターの空調熱源システムの地中熱システムを中心とした更新にかかる詳細設計および、地中熱システムの地場産業化を目指す事業を実施し地域の発展につなげるための検討を行う。	

(備考)

- 1 事業完了した日から 3 ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領 8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。

- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。